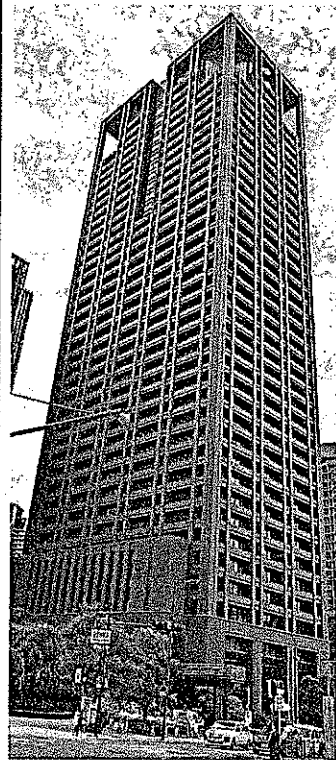


# 受注業者も金品

## 現金・商品券など 関電3幹部受領

関西電力の幹部3氏が、高浜原発（福井県高浜町）の工事を受注していた「吉田開発」を含む2社から金品を受け取っていたことが3日、分かりました。関電は幹部らに還流した金品の原資は「分からない」としてきましたが、一部に「原発マネー」が含まれていたことが明らかになりました。（「原発」取材班）



関西電力本店＝大阪市北区

## 流還マネー原発

### 吉田開発「特命発注」で恩恵も

高浜町元助役の森山栄治氏は、関電幹部らに金品を渡す際に、吉田開発などを同席させることもありました。関電によると、金品を受け取っていたのは、原子力事業本部長だった豊松秀三元副社長、同本部長代理の鈴木聡常務、同副事業本部長だった大塚茂樹常務の3氏。

大塚氏は、吉田開発から現金100万円と商品券40万円分を受け取りました。豊松氏は、別の工事業者からスーツ券4着分を受領。鈴木氏も別の工事業者からスーツ券1着分を渡されています。関電は吉田開発以外の企業名を公表していません。

関電が2日に公表した調査報告書は、現金、金貨などの金品を「森山氏等から渡された」と記述していました。18年の5年間で関電から約7億円の工事を

直接受けていました。同期間にゼネコンなどの下請けの形で約57・3億円を受注しています。関電からの入札を経ない「特命発注工事」は、14年9月～17年12月末までに原子力事業本部と京都支社で計18件ありました。吉田開発への特命発注について調査報告書は、森山氏から高浜町の企業に発注するよう要望があった結果、「特別な理由があるとき」と判断したことをあげています。

再稼働への同意影響を否定せず  
高浜町長  
関西電力幹部に福井県高浜町の元助役（故人）から「原発マネー」が還流した疑惑で、同町の野瀬豊町長は2日、記者団の取材に応

べました。福井県の杉本達治知事も取材に応じ、高浜1、2号機の再稼働とは「別のこと」としつつ、「今判断することではないが、信頼回復に努めてほしい」と述べました。